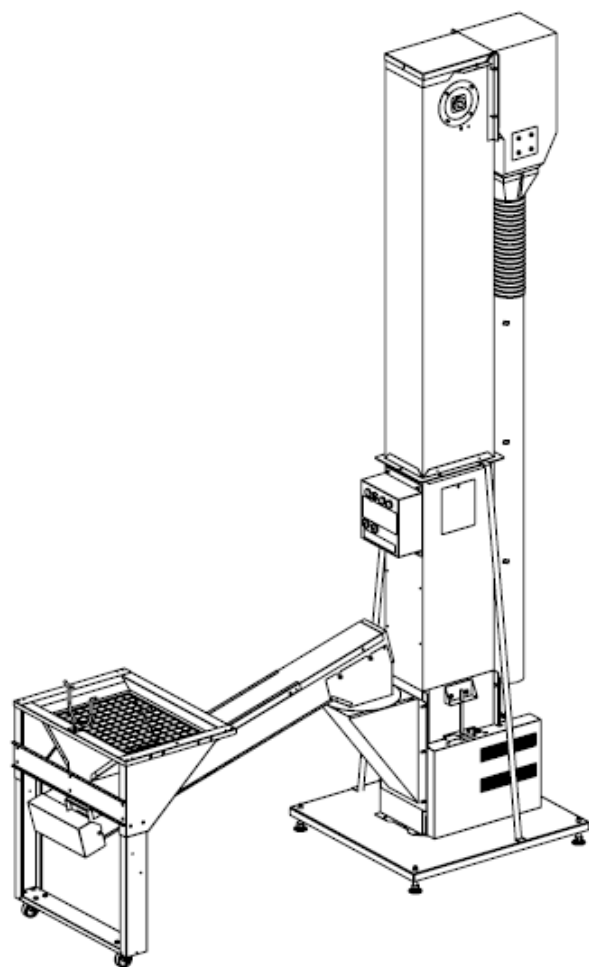


粉・麦用張込装置

PH2-FF

取扱説明書



この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取り扱いをしてください。

この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

## ご使用の前に

---

---

### ご使用の前に

1. この機械を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。そのうえで、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
2. この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうるすべての危険を予測、想定できているわけではありません。従って、機械の運転、保守・点検を行う場合は、取扱説明書の記載及び機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
3. 改造はしないでください。修理や交換には必ず正規の部品を使用してください。
4. この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社連絡先にお問い合わせください。
5. この取扱説明書を必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。紛失した場合は、購入先へ注文してください。
6. 製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの取扱説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 型式名のご確認

型式名と製造番号が銘板に記入されています。ご確認の上、次ページの保証書の記入欄に書き入れてください。購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される場合は、この型式名を一緒にご連絡ください。

# 保証の限定

## 保証の限定

この製品は万全の品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ日より1年間無料で修理いたします。

ただし、次のような場合は保証期間中でも有料修理になります。

- (イ) 誤ってご使用になった場合および不当な修理・改装による損傷および故障。
  - (ロ) 移転等による輸送上の損傷および故障。
  - (ハ) 火災・地震・風水害などの天災および公害・異常電圧・指定外の使用電源（電圧）や変質灯油、不純灯油のご使用による損傷および故障。
  - (ニ) 弊社純正部品以外のご使用による損傷および故障。
  - (ホ) 保証書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 保証書の指定事項の未記入あるいは文字を訂正された場合。
  - (ト) 使用損耗や経年変化により発生する現象。
- 製品以外の責（製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害）については保証いたしかねます。

## 部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後12年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

## 保証書

### 製品保証書

ご住所	□□□□□□□□			
	電話( ) -			
ご芳名	-----			
製造番号	-----			
型式名	PH2-FF	保証期間	平成 年 月 日	1ケ年
販売店名	-----			
	電話( ) -			

■本保証書はお買上店なき場合は無効となりますので、必ず捺印していただください。

このたびは、当社の製品をお買い上げくださりありがとうございます。

1. 本機は万全の検査を行い高品質を確保しております。お客様の正常の使用状態で使用中、万一不都合が発生した場合は購入日より満1ケ年間につき無料修理をいたします。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料となります。
  - (イ) 誤ってご使用になった場合、および不当な修理・改装による損傷及び故障。
  - (ロ) 移転等による輸送上の損傷及び故障。
  - (ハ) 火災・地震・風水害などの天災及び公害・異常電圧・指定外の使用電源（電圧）や変質灯油、不純灯油のご使用による損傷及び故障。
  - (ニ) 弊社純正部品以外のご使用による損傷及び故障。
  - (ホ) 保証書のご提示が無い場合。
  - (ヘ) 保証書の指定事項の未記入あるいは、文字を訂正された場合。
  - (ト) 使用損耗や経年変化により発生する現象。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
※修理はお買上げ販売店に必ずこの保証書をご提示のうえ依頼ください。  
※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。
4. 製品以外の責（製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害）については保証いたしかねます。

静岡製機株式会社



Shizuoka Seiki Co., Ltd.

# 改訂の記録

## 改訂の記録

改訂No.	日付	変更内容と理由

# 目次

## 目次

ご使用の前に .....	2
型式名のご確認 .....	2
保証の限定 .....	3
部品の供給年限について .....	3
保証書 .....	3
改訂の記録 .....	4
目次 .....	5
1 まえがき .....	7
1.1 取扱説明書の記載内容 .....	7
1.2 使用目的・使用範囲 .....	7
1.3 構成 .....	7
1.4 使用電源 .....	7
1.5 廃棄について .....	7
2 安全について .....	8
2.1 警告用語の種類と意味 .....	8
2.2 安全に作業を行うための注意事項 .....	9
2.3 警告表示ラベルについて .....	10
① 警告表示ラベルの貼付位置 .....	10
② 警告表示ラベルの内容 .....	11
3 仕様、構成 .....	12
3.1 仕様 .....	12
① 主要諸元 .....	12
② 主要寸法 .....	12
3.2 構成（各部の名称とはたらき） .....	13
4 移動 .....	14
4.1 移動について .....	14

# 目次

5 収穫期前の確認と作業について.....	15
5.1 各部の確認と作業.....	15
① Vベルト、テンションの確認.....	15
② バケットの確認.....	15
5.2 点検修理履歴.....	15
6 運転操作.....	16
6.1 運転前の確認と作業.....	16
① カバー類の確認.....	16
② 回転方向の確認.....	16
③ 昇降機の確認.....	16
④ 満量センサー、検出部の確認.....	17
6.2 運転操作.....	17
6.3 搬送量の微調整.....	18
6.4 非常停止.....	18
7 収穫期後の掃除、点検・保管.....	19
7.1 残留穀物の取り出しと掃除.....	19
① 昇降機.....	19
② 前張込装置.....	19
7.2 電気部品の保管.....	19
① コントロールボックスの保管.....	19
② 電源コードの取り外し.....	19
8 異常・故障の原因とその処置.....	20
8.1 運転中に異常が発生した場合.....	20
8.2 停止時、起動時の異常.....	20
9 各部の調整方法.....	21
9.1 バケットベルトの張り調整.....	21
9.2 駆動Vベルトの張り調整.....	21
9.3 異常表示灯点灯時の処置（モーター過負荷によるサーマルリレー作動）.....	22
10 オプション部品.....	23
10.1 延長投入ホッパー.....	23
11 保守部品表.....	24
12 連絡先.....	25

# まえがき

## 1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、この機械の使用目的・範囲・構成および使用電源について説明しています。

### 1.1 取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、取り扱い安全事項、仕様、運転方法、保守・点検およびオプション部品、保守部品の説明が記載されています。

### 1.2 使用目的・使用範囲

この機械は、粳、麦を乾燥機や搬送機に張り込み作業が行えるように設計されています。粳・麦以外には使用しないでください。

**前張込装置部ホッパーの許容荷重は 180kg です。**

### 1.3 構成

この機械は、昇降機、前張込装置、コントロールボックス、シュート類で一式となっています。

### 1.4 使用電源

この機械の使用電源は三相 200V(50/60Hz 仕様別)で、電源電圧が 180~220V の範囲でご使用になれます。

電源は感電事故防止のために、漏電ブレーカーがあるコンセント(アース端子付き)から配線してください。

電源コードは電圧降下を防止するために、2.0mm<sup>2</sup>以上の太さで、10m 以下の長さにしてください。

### 1.5 廃棄について

廃棄する場合は、この取扱説明書を参考にして解体してください。

- ① 解体後、機内に残留している穀物、粉塵等を清掃して取り除きます。
  - 作業場の換気を良くした上で作業を行います。
  - 必要に応じて、防塵メガネ、マスクを使用します。
- ② 取り外した部品は分別してください。主なものとして、配線コード、モーター類及び各センサー類、バケットベルト一式、コントロールボックス内の基盤及び電気部品、プラスチック部品があります。
- ③ 本製品は廃棄の際には「産業廃棄物」ですので、処分場への廃棄については必ず専門の業者に委託してください。

# 安全について




## 2 安全について

この機械を取り扱う前に必ずお読みください。この章では、警告用語の種類と意味、取り扱い全般についての注意事項および警告表示ラベルについて説明しています。

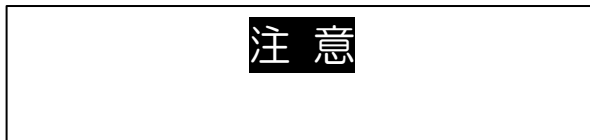
### 2.1 警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容および機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合いに従って次の3段階に分けています。

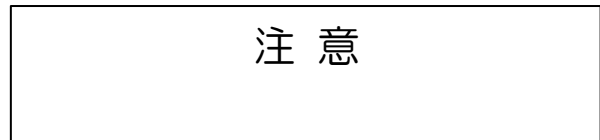
この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作・保守・点検を行ってください。

警告用語	意味
	[危険]の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと死亡または重傷および火災事故につながる危険性が高く、最もご注意ください内容です。
	[警告]の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、死亡または重傷および火災事故につながることもあり、十分ご注意ください内容です。
	[注意]の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、ケガ・裂傷などの事故につながることもあり、ご注意ください内容です。

取り扱い全般について留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。



特に注意を要する留意事項



一般的な留意事項



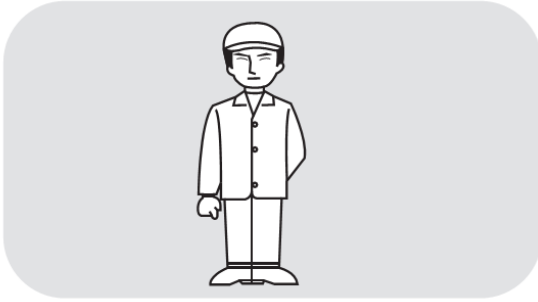
- この機械の運転操作、保守、点検は、必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、(12.連絡先)にお問い合わせ、確認してから作業を始めてください。



# 安全について

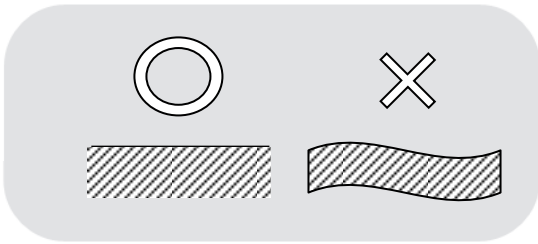
## 2.2 安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。



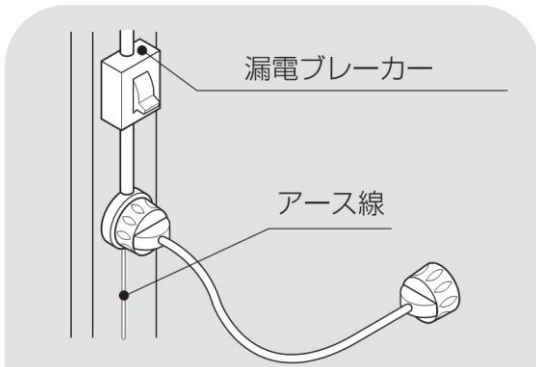
### ① 作業者の制限

- 取扱説明書を熟知してください。
- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 過労や病気、酒気帯びの状態では作業しないでください。
- 取扱説明書に書いてないことはしないでください。



### ② 作業場の整備

- この機械の使用場所は、コンクリート床で凹凸のないところであることを確認してください。凹凸は改修してください。



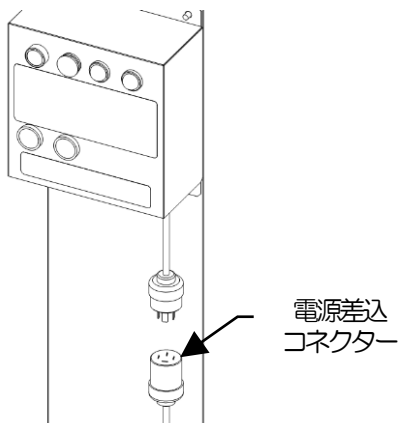
### ③ 電源配線とアース

- この機械の電源は感電事故防止のために、漏電ブレーカーがあるコンセントから配線してください。
- 電源コードは電圧降下を防止するために2mm<sup>2</sup>以上の太さで10m以下の長さにしてください。
- 感電事故防止のため、電源コードのアースを接地してください。



### ④ 運転中の安全

- 周囲の安全を確かめてから運転を始めてください。
- カバー類は全て取り付けてください。
- 運転中は稼動部に触れないでください。
- ホッパーの上にはのらないでください。
- 屋外や雨風のあたる場所ではご使用なさないでください。
- 無人運転は避けてください。
- 子供や作業に関わらない人は、作業スペースに入らないようにしてください。



### ⑤ 保守・点検時の安全

- 各部の掃除・点検をする場合は、必ず元電源を抜いてから行ってください。元電源とはコントロールボックスの電源差込コネクターの部分を行います。

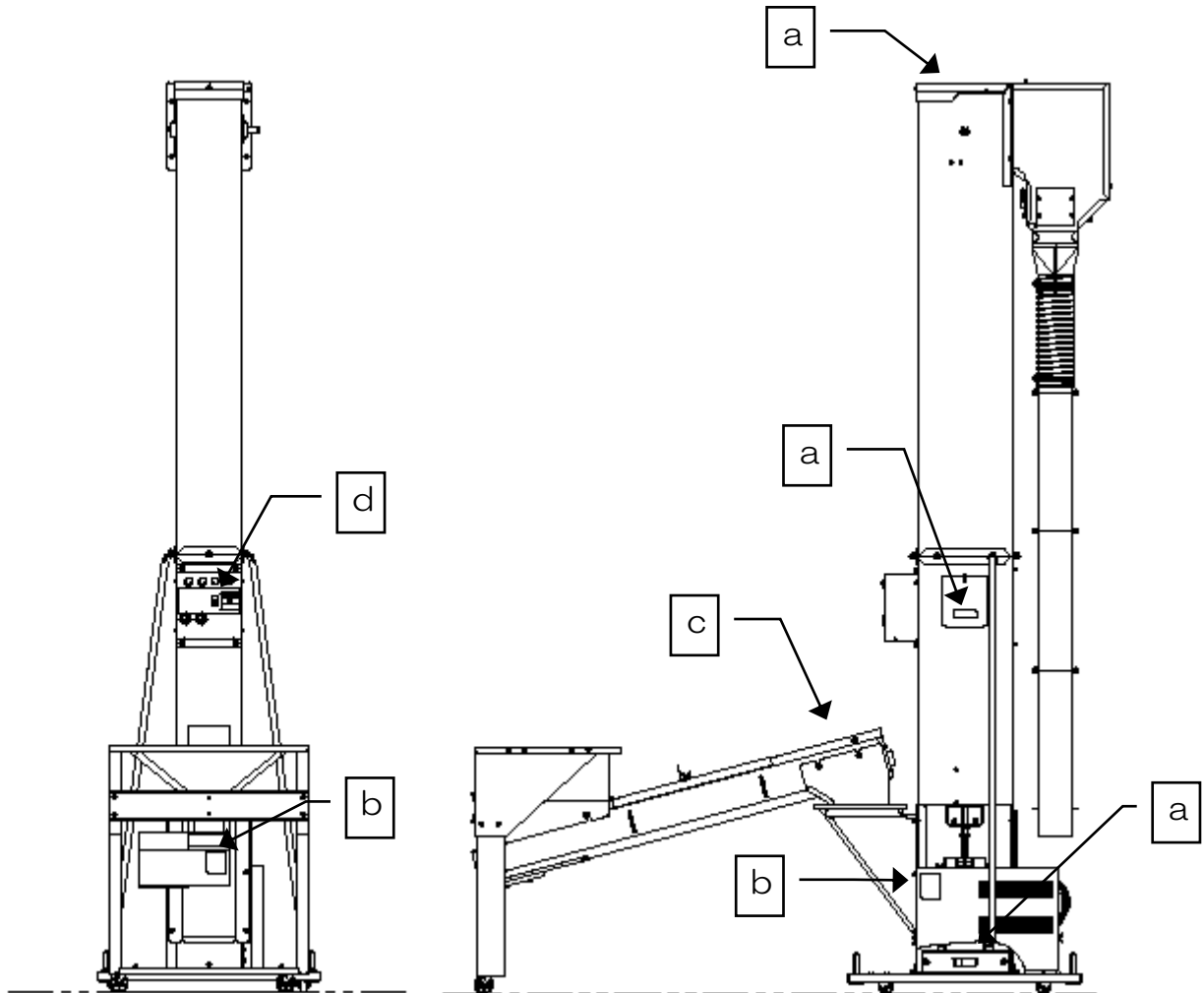
# 安全について

## 2.3 警告表示ラベルについて

この機械の特に注意を要する箇所に警告表示ラベルが貼ってあります。これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

### ① 警告表示ラベルの貼付位置

警告表示ラベルの貼付位置を次に示します。



図面表示記号	標識	品名	貼付位置	品番
a	注意	バケット巻込注意ラベル	昇降機天板 覗き窓板 底掃除口（左右）	00087-200111
b	注意	ベルト巻込注意ラベル	下ベルトカバー ベルトカバー	00087-200108
c	注意	スクリュ+ホッパ落下注意ラベル	スクリュ+樋上蓋	01027-200105
d	警告	スイッチ説明ラベル	コントロールボックス	00602-203011

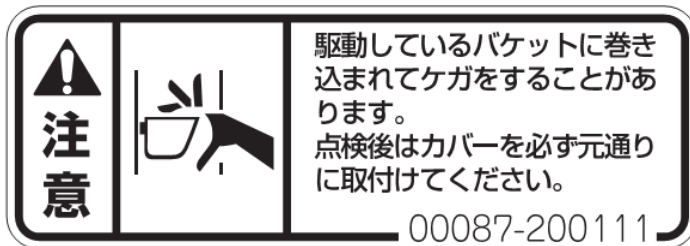
# 安全について

## ② 警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなった場合は、新しいラベルに貼替えてください。ラベルは購入先へ注文してください。

a



b



c



d

運転	停止	運転中	異常
<p>異常ランプが点灯した時は、電源コンセントを抜いてから異常の原因を取り除いてください。キャップを外し、リセットボタンを押してください。</p>			
<p>リセットボタン (緑色)</p>			
前張込モーター サーマル	昇降機モーター サーマル	>PET< 00602-203011	

# 仕様、構成

## 3 仕様、構成

この章ではこの機械の主な仕様、構成について説明しています。

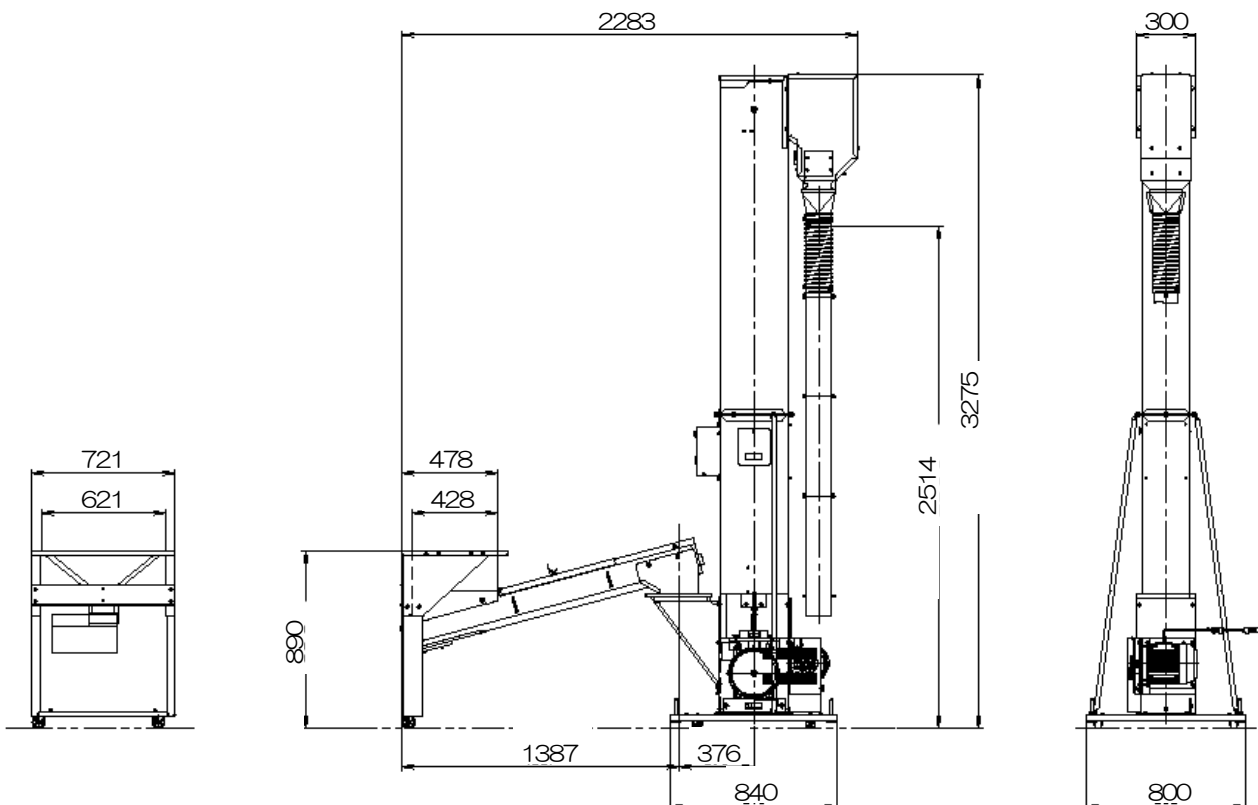
### 3.1 仕様

#### ① 主要諸元

主な仕様を次に示します。

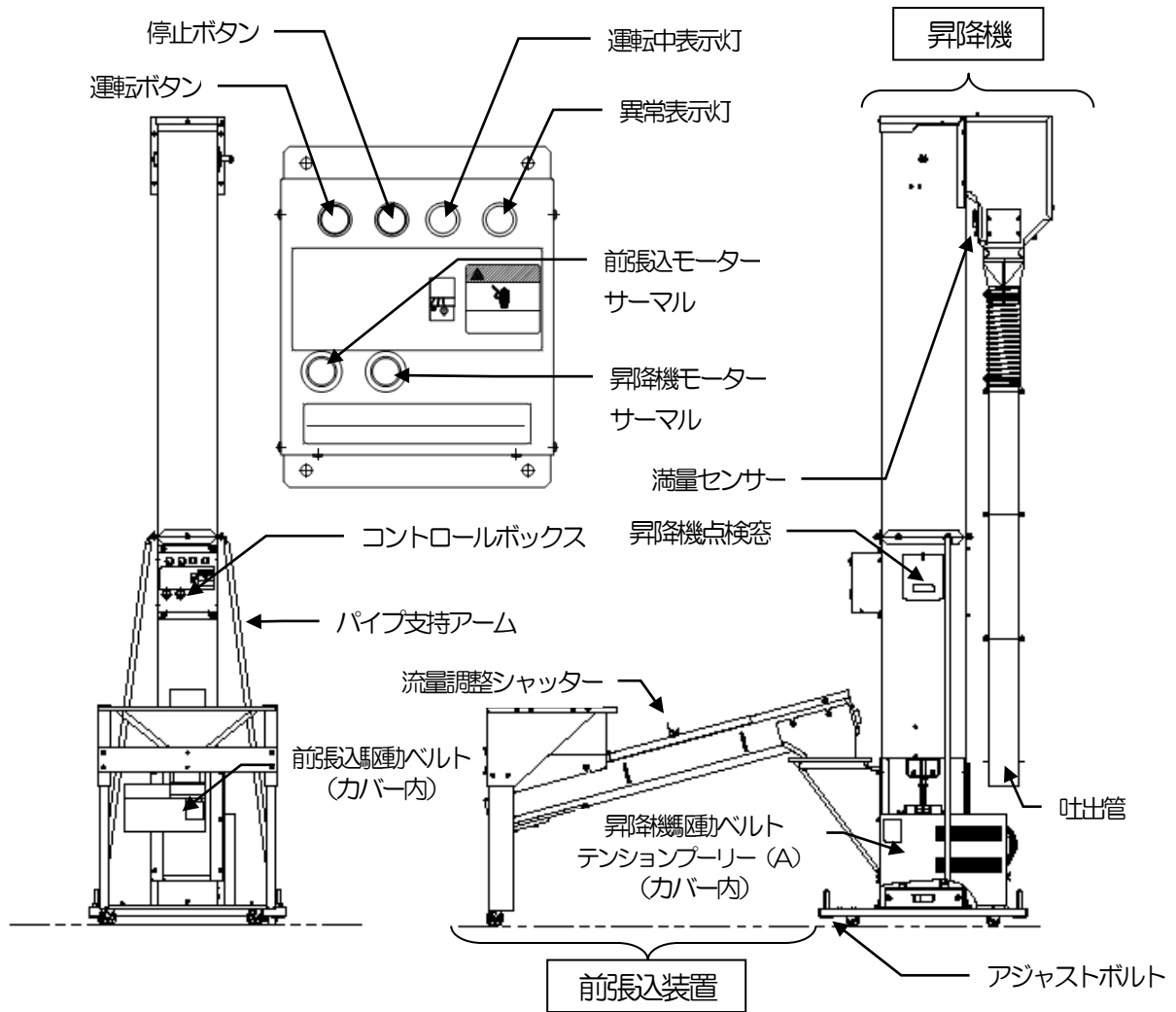
型式名	PH2-FF	
使用対象	粃 麦	
寸法[mm]	全長	2,283
	全幅	800
	全高	3,275
	張込部高さ	890
	張込部有効幅	621
	張込部奥行き	428
	吐出部高さ	2,514
	吐出管外径	Φ125
重量[kg]	昇降機部	150
	前張込装置部	56
搬送能力[t/h]	最大 15 (水分24%の粃)	
動力[W]	昇降機部	750
	前張込装置部	400
制御	満量センサーによる前張込装置のON/OFF 制御	
安全装置	サーマルリレー、ヒューズ	
オプション	延長投入ホッパー	

#### ② 主要寸法



# 仕様、構成

## 3.2 構成（各部の名称とはたらき）



名称	機能
昇降機	バケットで粳や麦を搬送します。
前張入装置	スクリーンで粳や麦を搬送します。
アジャストボルト	昇降機を使用時に固定します。
運転ボタン	機械の運転を開始するボタンです。
停止ボタン	機械の運転を停止するボタンです。
運転中表示灯	機械の運転中に点灯します。
異常表示灯	昇降機または前張入装置のモーターサーマルが作動した時に点灯します。
前張入モーターサーマル	前張入モーターの定格電流をこえると、サーマルが作動し、機械が停止します。キャップを外すとサーマル作動時のリセットボタンがあります。
昇降機モーターサーマル	昇降機モーターの定格電流をこえると、サーマルが作動し、機械が停止します。キャップを外すとサーマル作動時のリセットボタンがあります。
満量センサー	粳が滞留すると作動して前張入モーターの回転を止めます。
昇降機点検窓	開けると昇降機の回転方向や内部を点検確認できます。
流量調整シャッター	搬送量を微調整できます。(6.3 項を参照)
パイプ支持アーム	昇降機の揺れを防ぎます。また、機械を移動する際の持ち手になります。

# 移動

## 4 移動

この章ではこの機械の移動について説明しています。

### 4.1 移動について

この機械にはキャスターがついていますので、移動して使用することができます。



- バランスを崩して転倒しないように、ゆっくりと移動してください。
- フォークリフトやトラック等で持ち運ぶ際には、転倒しないようにロープ掛けしてください。
- 手で押し引きして移動する際には、突っ張り棒を持ってください。

#### 4.1.1 移動手順

- ① 元電源を抜いてください。
- ② 吐出管などが他の機器等と接続されていないことを確認してください。
- ③ 前張込装置のモーター配線を、コネクターではずしてください。
- ④ 前張込装置部を昇降機部からはずしてください。



- 外した前張込装置部を一時置きする際は、排出口等が変形しないように養生してください。
- ⑤ 昇降機部のアジャストボルト（4か所）を床から十分に上げてください。
  - ⑥ 目的の場所へ移動してください。

#### 4.1.2 異動後の準備手順

- ① 昇降機部のアジャストボルト（4か所）を使用して、昇降機を床と垂直にしてください。
- ② 上記アジャストボルト（4か所）が床について、安定していることを確認してください。
- ③ 前張込装置部を昇降機と連結してください。
- ④ 前張込装置のモーター配線を、コネクターで接続してください。
- ⑤ 吐出管を目的の機器等と接続してください。
- ⑥ 6.1 の②を参照して、回転方向の確認を行ってください。

# 収穫期前の確認と作業

## 5 収穫期前の確認と作業について

この章ではこの機械を使用する収穫期前に行う確認と作業について説明しています。

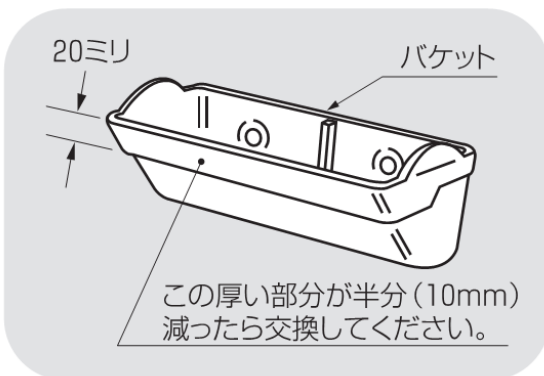
### 5.1 各部の確認と作業

#### ① Vベルト、テンションの確認

- この機械には、次表のVベルト、テンションプーリーを使用しています。
- Vベルトをはずし、Vベルト、テンションプーリーに損傷がないか確認してください
- 9.2の駆動Vベルトの張り調整を参照して、Vベルト張りを確認してください。

番号	名称	仕様	取り付け位置
1	前張込駆動Vベルト	LA (SA) -24	前張込ベルトカバー内
2	テンションプーリー(A)	V溝	昇降機ベルトカバー内
3	昇降機駆動Vベルト	LA-(SA)-44(50Hz) 又は-43(60Hz)	昇降機ベルトカバー内

#### ② バケットの確認



- 昇降機のバケット、バケットベルトが傷んでいないことを確認してください。昇降機点検窓から確認できます。傷んでいる場合は、購入先にバケット、バケットベルト交換を依頼してください。

### 5.2 点検修理履歴

購入先や当社の点検修理をお受けになった場合は、その内容を点検者に記入してもらってください。

年月日	内容	所要時間	確認印

# 運転操作

## 6 運転操作

この章ではこの機械の運転前の確認と運転操作について説明しています。

### 6.1 運転前の確認と作業

この機械の運転前には、次の確認と作業を行ってください。



- はずしたカバー、点検窓（蓋）や部品は、必ず元どおりに取り付けてください。
- 周囲の安全を確認してから、運転を始めてください。

#### ① カバー類の確認

各カバー、点検窓、点検蓋、部品が取り付けであることを確認してください。

#### ② 回転方向の確認

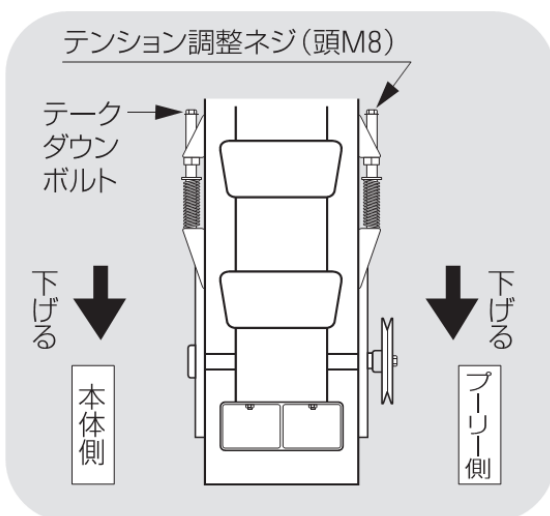
（電源コードの交換、電源系統の工事を行った場合には、必ずモーター類の回転方向を確認してください。）

- 元電源を接続してください。
- 運転ボタンを押してください。モーターが回ります。
- 昇降機点検窓を開け、バケットベルトが吐出方向に回転しているか確認してください。
- 停止ボタンを押してください。モーターが止まります。

※回転方向が反対の場合には、続いて次の作業を行ってください。

- 元電源を抜いてください。
- コントロールボックスを開け、盤内右下端子台の赤線と黒線を入れ替えてください。

#### ③ 昇降機の確認

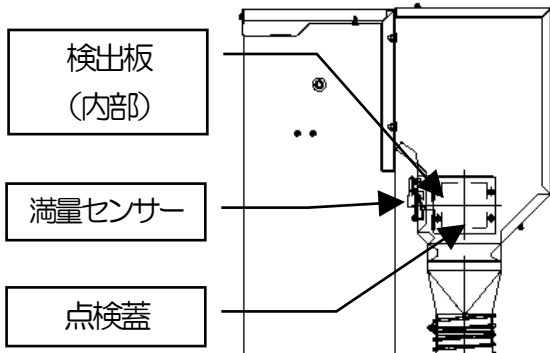


- ②の確認のとき、昇降機からガタガタと接触音が聞こえた場合には、バケットベルトの張りの調整を行ってください。
- 調整の仕方は9.1 バケットベルトの張り調整を参照してください。



## 運転操作

### ④ 満量センサー、検出部の確認



- 脚立をご用意ください。
- 昇降機吐出管の点検蓋を取り外してください。検出板と満量センサーが確認できます。
- 検出板と満量センサーの周辺にワラ屑、埃等がある場合は、それらを取り除いてください。
- 検出板が軽く動くことを確認してください。



- 確認作業の時、この機械の上に乗らずに、必ず脚立をご使用ください。
- 梯子等を昇降機にもたせ掛けることもおやめください。

## 6.2 運転操作

- ① 元電源を接続してください。
- ② 張込先の機械を張込運転状態にしてください。
- ③ この機械の運転ボタンを押してください。モーターが回ります。
- ④ ホッパーに粃（または麦）を投入してください。



- 間欠運転の停止中、急に前張込モーターが起動することがあります。点検窓（蓋）等を開けて中に手を入れたり、ホッパーの中に手を入れたりしないよう、注意してください。



- 前張込装置部ホッパーの許容荷重は 180kg です。フレコンバッグ等の荷重が直接かからないようにしてください。機械が変形・破損します。

### 注意

張込先の搬送能力が小さい場合には、張込先、シュート管内に粃（麦）が溜まり、満量センサーにより自動的に前張込モーターが止まります。シュート管内に粃（麦）が無くなり、センサーが復帰するとしばらくして、モーターが再起動します。運転中はこのように自動間欠運転しますが故障ではありません。

- ⑤ ホッパーと昇降機内に粃（麦）が無くなったら、停止ボタンを押してください。モーターが止まります。

### 注意

粃（麦）を入れた状態で移動しないでください。車輪が損傷する場合があります。

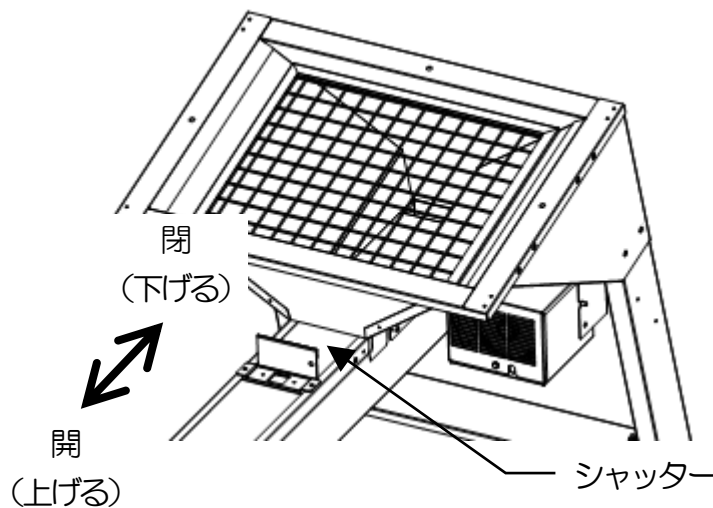
# 運転操作

## 6.3 搬送量の微調整

ホッパー下の流量調整シャッターで、搬送量の微調整ができます。必要な場合は、下表を参照して流量の調整を行ってください。

出荷時の流量調整シャッターの位置は閉（最も下げた状態）です。

番号	状態	シャッター操作
1	張込先の搬送量が明らかに小さく、頻繁に前張込装置が間欠運転する。	シャッター閉（下げる）
2	乾燥粳（麦）、半乾燥粳（麦）の張り込みで送り量が多過ぎ、昇降機が詰まる。	シャッター閉
3	乾燥粳（麦）、半乾燥粳（麦）の張り込みで、張込先の搬送量が大きく、流量を増やしたい時。	シャッター開（上げる）
4	粳（麦）の水分が高い、夾雑物が多い等で流れが悪くなかなか搬送しない。	シャッター開



## 6.4 非常停止

異常が発生したら、直ちにコントロールボックスの停止ボタンを押してください。

### 注意

異常の原因を取り除いてから、再び運転を行ってください。



異常の原因を取り除くときは、この機械の電源コードを元電源から抜いて作業してください。

# 収穫期後の掃除、点検・保管

## 7 収穫期後の掃除、点検・保管

この章では収穫期後の掃除、点検・保管について説明しています。



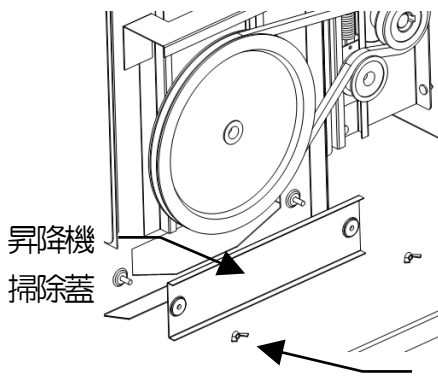
- 作業前に必ず電源コードを元電源から抜いてください。
- はずしたカバー、部品は必ず元通りに取り付けてください。
- 作業後のネジがしっかり締め付けてあることを確認してください。

### 7.1 残留穀物の取り出しと掃除

残留穀物の取り出しと掃除の方法を次に示します。

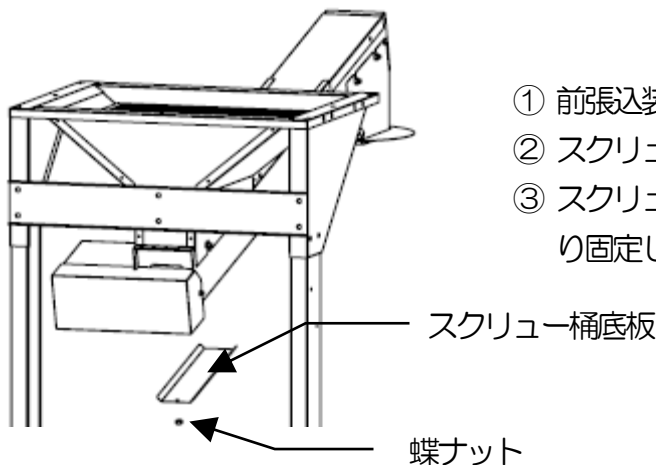
品種が変わった場合も、同様の手順で作業してください。

#### ① 昇降機



- ① 昇降機ベルトカバーをはずします。
- ② 蝶ナットをはずします。
- ③ 昇降機掃除蓋をはずし、清掃します。
- ④ 昇降機掃除蓋をもとに戻し、蝶ナットでしっかり固定します。
- ⑤ 昇降機ベルトカバーを取り付けます。

#### ② 前張込装置



- ① 前張込装置下部の蝶ナットをはずします。
- ② スクリュー桶底板をはずし、清掃します。
- ③ スクリュー桶底板をもとに戻し、蝶ナットでしっかり固定します。

### 7.2 電気部品の保管

#### ① コントロールボックスの保管

コントロールボックス内にほこりや雨水が入らないように保管してください。

#### ② 電源コードの取り外し

元電源を抜いてください。

落雷によりコントロールボックスが故障する場合があります。

# 異常・故障の原因とその処置

## 8 異常・故障の原因とその処置

この章では、不具合が発生した場合の処置の方法について説明しています。



- 異常の処置をする場合は、必ず電源コードを元電源から抜いてください。
- はずしたカバー、部品は必ず元通りに取り付けてください。
- 作業後のネジがしっかり締め付けてあることを確認してください。

### 8.1 運転中に異常が発生した場合

故障の様子	原因	処置
元電源のブレーカーが切れる (とび)	・ブレーカーの容量不足	・電気工事店に依頼してください
	・コード接続不良	*購入先に依頼してください
	・漏電	*購入先、電気工事店に依頼してください
異常表示灯が点灯し停止	・昇降機 V ベルト緩み	・V ベルトの張りを調整してください
	・ // 切断	*購入先に依頼してください
	・バケットベルトのスリップ	・バケットベルトの張りを調整してください
	・昇降機バケット摩耗	*購入先に依頼してください
	・前長込装置の搬送量が多い	・流量調整シャッターを閉める (下げる)
	・満量センサーが働かない	・センサー、検出板部を点検してください
シュート管に粉が溜まってセンサーが働かない	・検出板と満量センサーの間に夾雑物等が入り込んだ	・センサー、検出板部を点検してください
	・満量センサー故障	*購入先に依頼してください
	・基板故障	*購入先に依頼してください
シュート管の粉が無くなっても起動しない	・検出板が働かない	・センサー、検出板部を点検してください
	・満量センサー故障	*購入先に依頼してください
	・基板故障	*購入先に依頼してください

### 8.2 停止時、起動時の異常

故障の様子	原因	処置
元電源のブレーカーが切れる (とび)	・電源誤配線	・アース線位置を確認してください
	・コード接続不良	*購入先に依頼してください
	・漏電	*購入先、電気工事店に依頼してください
起動しない (運転中表示灯は点灯)	・前長込装置 V ベルト切断	*購入先に依頼してください
	・満量センサーコード抜け、緩み	*コードをしっかり差し込んでください
	・ // 切断	*購入先に依頼してください
	・マグネット故障	*購入先に依頼してください
	・センサー故障	*購入先に依頼してください
起動しない (運転中表示灯点灯しない)	・基板故障、ヒューズ切れ	*購入先に依頼してください
	・スイッチ故障	*購入先に依頼してください

# 各部の調整方法

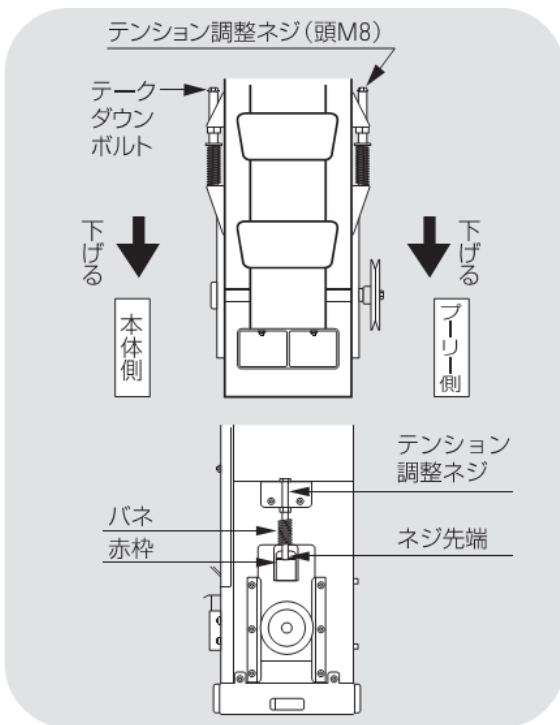
## 9 各部の調整方法

この章では、点検や異常時の処置などに必要な各部の調整方法について説明しています。



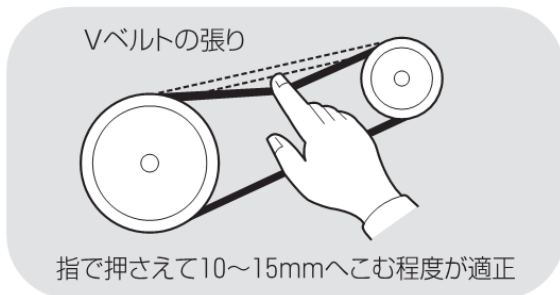
- 作業前には、必ず電源コードを元電源から抜いてください。
- はずしたカバー、部品は必ず元通りに取り付けてください。
- 作業後のネジがしっかり締め付けてあることを確認してください。

### 9.1 バケットベルトの張り調整



- ①左右のテークダウンボルトのテンション調整ネジを均等に回してベルトを張ってください。
- ②張り具合はテンション調整ネジの先端がシールの赤枠に収まるようにしてください。

### 9.2 駆動Vベルトの張り調整



- 各Vベルトの点検はベルトカバーを外して行ってください。
- Vベルトの張り具合は左図のとおりです。
- Vベルトが損傷していたり、伸びて自動テンションが効かない場合は、購入先に交換を依頼してください。
- 点検後、ベルトカバーを取り付けてください。

## 各部の調整方法

### 9.3 異常表示灯点灯時の処置（モーター過負荷によるサーマルリレー作動）

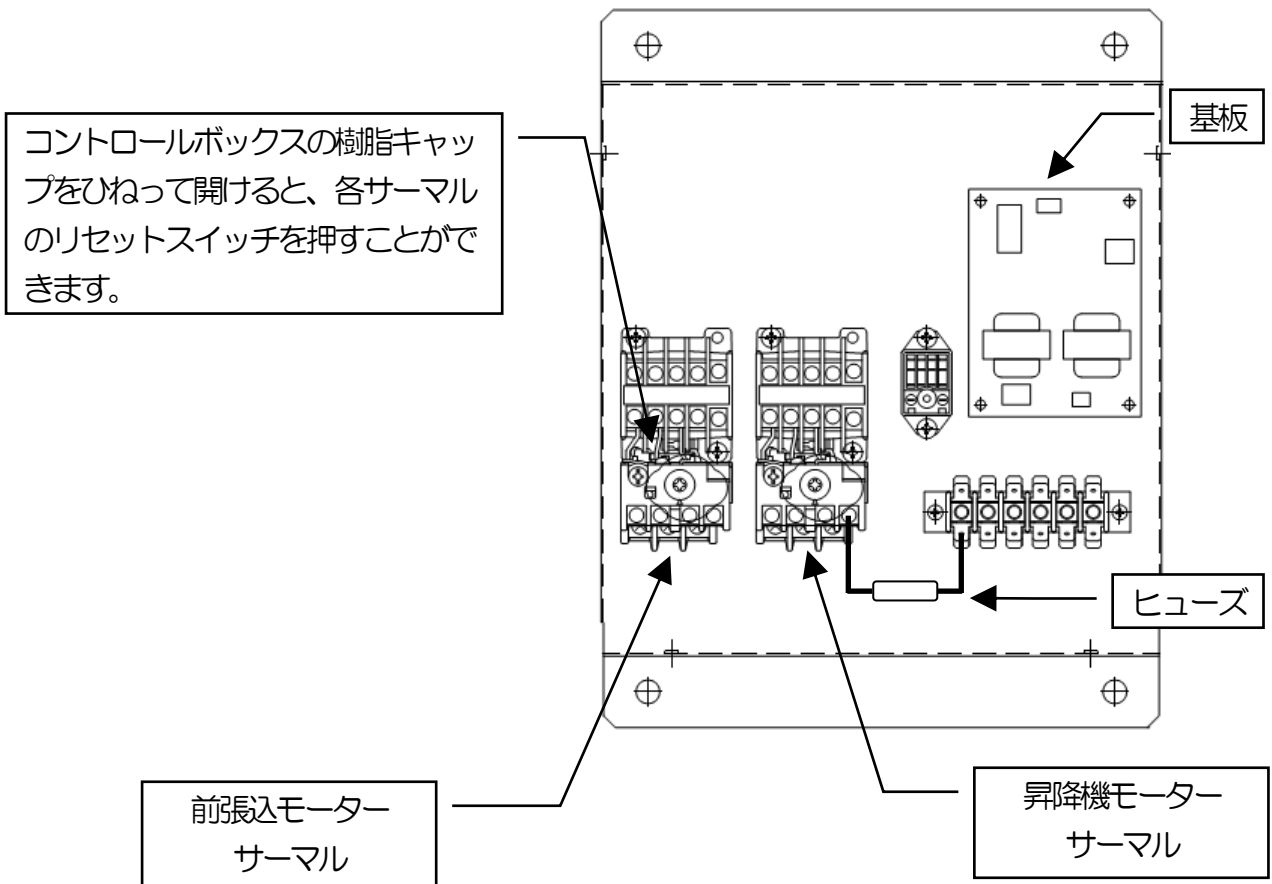
・何かしらの理由でモーターが過負荷停止（異常表示灯点灯）した場合は次の方法で処置してください。

- ① 停止ボタンを押し、停止状態にし、元電源を抜いてください。
- ② 昇降機下部の糲（麦）を取り出してください。（7.1①参照）
- ③ 前張込装置の糲（麦）を取り出してください。
- ④ シュート管内に残留穀物、ツマリのないことを確認してください。
- ⑤ コントロールボックス内サーマルリレーの復帰ボタンを押してください。

サーマルリレー設定値[A]	50/60Hz 共通
前張込モーターサーマル	3.0
昇降機モーターサーマル	7.0



- サーマルリレー復帰後に運転を始めても、またサーマルリレーが作動する時は、購入先へご連絡ください。何度も繰り返すと、モーターが焼損し、大変危険です。
- サーマルリレーの調整は、購入先へご依頼ください。設定値を上げすぎると、モーターが焼損し、大変危険です。



# オプション部品

## 10 オプション部品

この章では、オプション部品について説明しています。

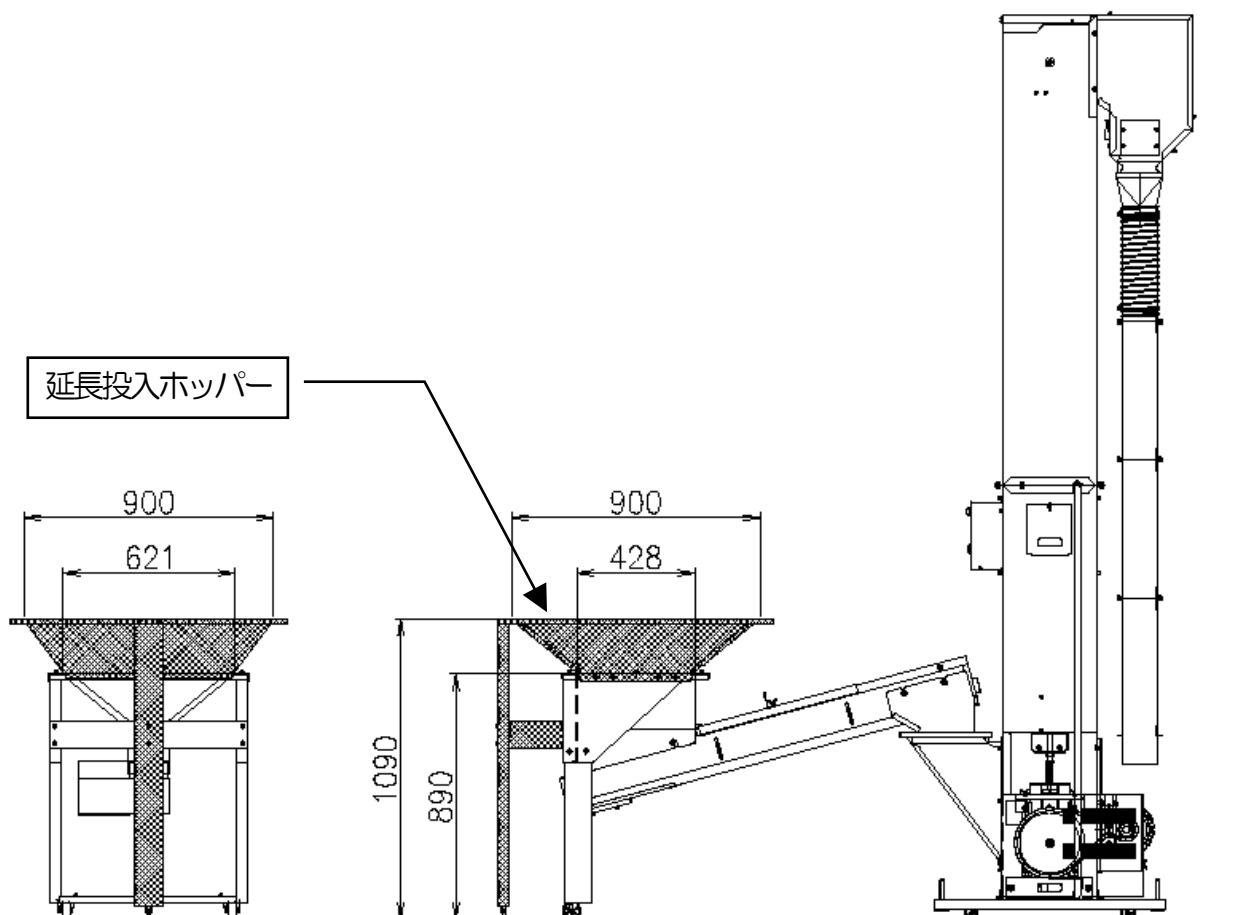
### 注意

取り付け方法、注意事項、使用方法については、オプション部品梱包に入っている組立・取扱説明書をお読みください。

その組立・取扱説明書は、この取扱説明書と一緒に保管してください。

### 10.1 延長投入ホッパー

延長投入ホッパーを付けることにより、投入部が広くなります。



# 保守部品表

## 11 保守部品表

この章では、主な保守部品について説明しています。

### 注 意

収穫期が始まる前に各部を点検し、摩耗したり損傷している部品は、早めに購入先へ注文し、交換してください。

部品供給年限は、原則としてこの機械の製造終了後 12 年間です。

品名	品番	仕様	備考
Vベルト	90051-020024	LA(SA)-24	前張込装置用
Vベルト	90051-020043	LA(SA)-43	昇降機用 (60Hz)
Vベルト	90051-020044	LA(SA)-44	昇降機用 (50Hz)
バケットベルト組立	00602-101009		バケット付セット
8"バケット	00058-217053	1 個	54 個/台 使用
テンションプーリー(A)	00004-206045	V 溝	
ベアリング(6303LLU)	90052-116303		昇降機用 4 個/台
ベアリング(6204LLU)	90052-116204		前張込装置用 2 個/台
満量センサー	00020-214045		
搬送モーター(三相・0.85kW)	01217-215006		昇降機用
前張込モーター三相 400W	01204-224045		前張込装置用
コントロールボックス内 ヒューズ	00306-219058	2A 250V サイズ φ6.35×31.8mm	市販品
取扱説明書	00602-200005		
警告表示ラベル	2.3 参照		



## 連絡先

### 12 連絡先

この機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合や、修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店または下記最寄りの弊社営業所へ連絡してください。

#### 静岡製機株式会社

営業本部 〒437-1121 静岡県袋井市諸井 1300

TEL (0538) 23-2822 FAX (0538) 23-2890

北海道営業所 〒007-0804 札幌市東区東苗穂 4 条 3 丁目 4 番 12 号

TEL (011) 781-2234 FAX (011) 780-2273

東北営業所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波 3 丁目 1 番 14 号

TEL (0229) 23-7210 FAX (0229) 21-1330

新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市姥ヶ山 1 丁目 5 番 30 号

TEL (025) 287-1110 FAX (025) 257-1197

関東営業所 〒302-0017 茨城県取手市桑原宇桑原 1424-1

TEL (0297) 73-3530 FAX (0297) 70-1137

中部営業所 〒437-8601 静岡県袋井市山名町 4-1

TEL (0538) 43-2251 FAX (0538) 45-0310

北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東 52 番地

TEL (076) 249-6177 FAX (076) 240-9333

関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東 2 丁目 10-8

TEL (06) 6432-7890 FAX (06) 6434-2184

中四国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今 2 丁目 8-12


TEL (086) 244-4123 FAX (086) 244-9300

九州営業所 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1438-1

TEL (0942) 32-4495 FAX (0942) 31-7373

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、ご要望は下記までご連絡ください。

「静岡製機株式会社 お客様提案窓口」

 フリーダイヤル 0120-702-118 (携帯電話、PHS は不可)

一般電話 0538-23-3305

FAX 0538-23-4997

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

00602-200005